



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2014年12月No.391

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『多くの扉を開き感動を共に』 国際会長 : 『言葉より行動を』 アジア地域会長 : 『未来を始めよう、今すぐに』 西日本区理事 : 『響き合い、共に歩む』 中西部部長 : 『YMCA・ワイズ共に若者、社会に光を』	会 長 : 芝田 光雄 副会長/書記 : 何 早林 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 坂本 千春 Y連絡職員 : 鍛治田千文

Biblical Message of December

闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。ひとりのみどりごが、わたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。 (イザヤ書9章1~5節)

「めざめる瞬間・・・」

中村 茂高

幼いヘレンが「愛って、スミレのようないい香り？」と聞くと、サリバンは「違うわ」と答える。ふたりの上に注ぐ日差しを感じたヘレンは、この暖かいものがやってくる方向を指差し、太陽が愛だと思う。しかしサリバンは首を振る。一日中太陽は雲に隠れ、時折雨が降った。と、急に雲間から太陽が顔をのぞかせ、南部特有の熱い日差しを二人は浴びた。

「愛とは、太陽が顔を出す前に空を覆っていた雲のようなもの。雲にさわることにはできない。でも雨が降るのはわかるし、花も大地も雨を喜んでいるのはわかる。愛も手で触れることはできないけど、愛が注がれる時のやさしさを感じることができるとやさしくサリバンは指文字で教え、ヘレンを抱きしめた。その時、ヘレンは自分の心と他人の心が見えない糸で結ばれていることを知った。それまで動物的本能のままに生きてきたヘレン・ケラーが、抽象的な物事の理解にめざめる瞬間だった。 (次号は何早林さんです)

December Club Meeting

『EMC』

12月第1例会(クリスマス例会)

日 時: 2014年12月17日(水) 18:45~21:00

場 所: ホテルグランヴィア大阪

司 会: 松浦 孝次 君

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1.開会 | 芝田 光雄 会長 |
| 2.ワイズソング | 一 同 |
| 3.今月の強調月間 | 山中 秀男 君 |
| 4.聖句朗読 | 谷川 有美子メネット |
| 5.ゲスト紹介 | 芝田 光雄 会長 |
| 6.晩餐 | 一 同 |
| 7.卓話「新聞記者と新聞社の仕事」 | |
| 毎日新聞記者・北出昭さん | |
| 8.イベント「ウクレレによるクリスマスソング」 | |
| 9.連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 9.誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 10.閉会 | 芝田 光雄 会長 |

お誕生日: 何、岡本、中村隆の各メン

※プレゼントは巻頭言執筆者の中村メンが用意します。

例会担当: 第2班=坂本、藤原、中村隆、中村茂の各メン

※班担当者は30分前には来てください。

12月第2例会

日時: 2014年12月24日(水) 18:30~20:30

場所: 土佐堀YMCA会館4階



11月		種 別	第1例会	第2例会	BF ポイント		ニコニコ献金	
在籍会員	20名	メ ン	16名	10名	11月	0g		
例会出席	16名	メネット	5名	0名	現 金	0円	11月:	19,400円
うちメーキャップ		ビジター	0名	0名	累 計		累 計:	87,720円
	0名	ゲ ス ト	3名	0名	切 手	5,767g		
出席率	80%	合 計	24名	10名	現 金	0円		

旧約聖書で予言したイエス・キリストの誕生の箇所です。今年も降誕説を迎えます。今も多くの紛争・災害でたくさんの尊い人命が失われている世の中で、私たちが生かされている事実を、すなおに感謝します。そして、クリスマスは単なるお祭りの時で終わらせず明日への望みと希望の時としたいものです。クリスマスには、是非教会に足をお運びください。

聖句選/コメント：谷川 有美子
(次号は大村肇さんです)

11月第1例会報告

と き：11月19日(水) 18:45~21:00
ところ：ホテルグランヴィア大阪 21階

コートの上を立てる人もちらほらと、寒くなった11月。ゲストを含め24名が集まり、第一例会を開催しました。

今月のメインスピーカーは元 YKK の山口晴司さん。2年前に定年を迎えた今、専門学校に通い写真家をめざす夢追い人。「YKK の CHINA+one (チャイナ・プラス・ワン) でアジア展開」と題し、1977年から12年を香港で、その後4年を北京、5年を上海で過ごした経験をもとに、中国とアジア諸国の市場展開を、映像を交えお話していただきました。ブーツを締めるヒモの代用から考案された起源をもつファスナーも、ルイヴィトン、シャネル、エルメスなどのブランド品のほか、青函トンネルや明石海峡大橋にも使われるなど、今ではさまざまな用途に用いられていることなど、企業戦略の一端を知る興味深いお話でした。

また、急きょハワイ・ヌアヌクラブの50周年のセレモニーに参加した谷川寛メンから報告がありました。いよいよ始まるクリスマス献金のPRにYMCAの若いスタッフ、池田博人さんと花本茜さんがかけつけてくれました。



(中村 茂高)



ファスナーが様々な用途に使われている興味と語る山口さん

11月第2例会報告

と き：11月26日(水) 18:30~20:10

ところ：大阪YMCA 会館4階

出席者：石津、大村、岡本、芝田、中村隆、藤原、松浦、三浦、山田、山中の各メン

報告/審議事項

- ① 西クラブとの100人合同納涼例会の件を役員会が了承。会員候補確保で、両クラブから各50名出席をめざす/来夏/ホテルクライトン新大阪/4千円/詳細を今後西クラブと詰める。
- ② センテニアル寄席の件、2015年3月7日(土)13時開場、13時30分~15時30分開演。チラシは石津メン作成、大村メン印刷発注。
- ③ YYフォーラムの件：YとY'Sの関係について討議。
- ④ 例会出欠の件：例会1週間前にグルス登録締め切り。10日前にドライバーが出欠についてメンバーに確認。
- ⑤ 1月例会は、1月17日(土)中西部合同祝会とし、会費5千円の内、3千円はクラブ負担。
- ⑥ 堺臨海地区に「ワイズの森」をつくる構想がある。
- ⑦ 西日本区次期会長、主査研修は3月7日に決定。

(議事録より)

≡ Club Activities (November, 2014) ≡

On November 19, our club's dinner meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 24 Y's men, Y's menettes, and guests in attendance.

Following the explanation of this month's emphasis of activities, "Public Relations and Wellness" by Mr. Sam Fujiwara, President Mitsuo Shibata introduced guests including two young YMCA staff.

The highlight of the meeting was a speech made Mr. Seiji Yamaguchi, former executive of the YKK Corporation, the largest zip fastener manufacturer in the world.

Under the title "how to develop business in Asia under the principle of "China plus one policy", he spoke about variety of interesting topics, such as the origin and new uses of zip fastener, movement of their major customers, and measures against counterfeit products, etc.

He told us his long business experiences in China and Hong Kong where he had lived for a total of 21 years. The most interesting topic he told us was the difference of business principles and behaviors of the Chinese merchants in each region of vast China.

He also covered the current situation and future prospect of the business in the so-called "new business frontier" countries other than China in the South East Asia. What he told was so interesting that we could learn a lot from him.

Mr. Kan Tanikawa gave us a briefing of the Nuuanu Club's 50th Celebration he attended together with Mrs. Yumiko Tanikawa. Thinking of the dear faces of the Nuuanu members, we enjoyed eating the Hawaiian chocolates and nuts kindly presented by the club.

Yen19,400 was collected as the club's Niko-Niko (smiling) fund.

谷川 寛

今年も主の降誕を祝う季節となりました。振り返ってみて、今年も地球上で人間の争いの多い一年でした。2千年前に、地上に平和をもたらすべく神から遣わされたイエスの降誕の地は、エルサレムからあまり遠くないベツレヘム (Bethlehem) という寒村でした。

キリスト教が全世界に広まってからは、大昔の寒村も観光の街となり、今は多くの人口を抱える坂の多い街です。キリストが生まれた場所には聖誕教会 (Church of Nativity) **写真1** が建っています。キリスト聖誕の場所は教会地下の洞窟にあり、イスラエル民族の12部族を表す星の印 **写真2** があります。熱心な信者が口付けをしていました。イエス誕生の場所を、この教会の地下洞窟と定めたのは、ローマのコンスタンティヌス大帝の母ヘレナでした。聖誕教会のすぐ北隣にはフランシスコ派修道院聖カテリーナ教会があります。さらに、近くにミルク・グロット教会 (Milk Grotto) があり、ここには天使のお告げでヨセフ一行がエジプトへ逃れる際、マリアの母乳が何滴か地面に落ち、地面がミルク色に染まった、という伝説があります。ベツレヘムに留まっていると、聖書のキリスト降誕の物語の世界に引き込まれます。

現在、ベツレヘムのある場所は、実はイスラエルの領土ではなく、パレスチナ自治区に属します。大半の住民はアラブ人であり、彼らはイスラム教徒か、キリスト教徒です。町の看板は、大半アラビア語か英語で書かれています。話されている言葉もアラビア語が中心で、英語も充分通用します。ベツレヘムはイスラエルと異なり治安が悪く、テロの危険もあります。イスラエル側が造ったコンクリートの分離壁で包囲されており、入口にはイスラエル兵の検問所が設けられています。2015年こそ、「神には栄光、地には平和」を祈ります。



イエスが生まれた場所、聖誕教会



イスラエル民族の12部族を表す星の印

センテニアルワイズの皆様からの恒例のお茶会、今回も大変お世話になり、ありがとうございました！！

☆とさほりカーニバルご報告

11月3日に開催しました標記カーニバル、今年も大盛況でした。感謝をもって報告申し上げます。来場者 1,377名 (昨年 1,250名) クリスマス献金約 50万円 (現在最終計算中) (昨年 405,224円)。土佐堀の勢いを感じた一日でした。

☆クリスマス献金のお願い今年もご協力お願い申し上げます

土佐堀 YMCA (目標) 240万円/大阪 YMCA (全体目標) 1,100万円。*土佐堀 YMCA ではチャリティボウリング大会も予定しています。1月24日(土)!! 老若男女問わず、ご参加いただけます!!

☆クリスマスコンサート我ら芝田さんひきいるバンド!

みなさん揃ってお越しください。

【日時】12月4日(木) 18:30~ 【場所】大阪 YMCA 会館 10階チャペル 《出演》バックウッズマウンテニアーズ 《会費》千円 (ワンドリンク付)

☆第20回チャリティーラン (藤岡)

台風19号の接近に伴い中止いたしました「第20回大阪 YMCA インターナショナル・チャリティーラン2014」を次の日程で開催します。

【日程】2015年2月1日(日) 【場所】ヤンマースタジアム 長居 *スタジアムで走れますよ! ふるってご参加ください。

(鍛冶田 千文)

ハワイ・ヌアヌクラブ50周年に参加して

谷川 寛

私たちのブラザー・ヌアヌクラブの50周年の集いにメネットと二人で出席しました。”Natsunoya” という名前の日本の旅館を思わせる会場でした。昔の日本式で、全員靴を脱ぎました。舞台のある大広間で70名近い人数のワイズメン、YMCA スタッフ、それに、多くの若い YMCA 会員の参加がありました。ワイズに50年近く奉仕した会員の表彰がハイライトでした。9名の会員が表彰されました=写真。私からは、兄弟クラブ提携の経緯を述べ、30年以上に渡っての交流を感謝して、Gary 会長に川瀬巴水作の木版画をお贈りしました。芝田会長からのメッセージを代読しました。会食は、ピュフェ形式で、和気藹々と大変楽しいひと時でした。若い会員の参加が増え、YMCA から多くの人々を招いていたのが特徴でした。日本式のキーノート・スピーカーを招くなどの行事はありませんでした。若いワイズ会員中心の企画だそうです。会長以下三役は若い会員で占め、会計の Steve Wong さんのみが古手でした。前日、私たちのための歓迎会を開いてくれました。



ワイズに50年奉仕した9名の中にラリーさんの姿も見える



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《ゲストからのメッセージ》

- 初めて参加させて頂きましたが、貴重な時間の中、YKKの紹介、及び“China+ワン”と、私の40年間にわたる活動を聞いて頂き、誠に有難うございました。紳士・淑女の集まりで、話した内容について真剣に聞いて頂き、また質問についても的をえた内容だったと思います。今後もこの会が発展されることを祈っています。(山口 晴司)
- いつもサポートして頂き感謝です。“待望”のセンテニアル・ワイズメンズクラブの例会に参加できてとても嬉しかったです。(大阪Y・池田 博人)
- 初めての参加でしたが、温かく受け入れて頂き、どうも有難うございました。(大阪Y・花本 茜)

《会員、メネットからのメッセージ》

- YKKのファスナーの状況を知ることができ、興味ある話でした。また、中国人の商売の仕方についても面白い話でした。有難うございました。(石津 雅人)
- 山口さんの中国で歩んだ40年、中国での商売のことがよく理解できました。また、今年も11月より土佐堀YMCAのクリスマス献金が始まりました。よろしくをお願いします。(大村 肇)
- 世界の人の役に立つ日本企業のお話、大変興味深く聞きました。YKK精神も共感できる素晴らしい考えでした。(岡本 剛介)
- 11/23国際会議場である日本LD学会でYMCAの取り組みを発表します。とにかく必死で準備しています。(鍛冶田 千文)
- YKKの話、楽しく聞けました。(坂本 哲朗)
- 久しぶりに隅田メネットが例会に参加されて大変嬉しいです。(坂本 千春)
- 毎日ファスナーにはお世話になっております。世界のYKK、中国の様子などを学ばせて頂きました。有難うございました。(隅田 恵子)
- 山口様、世界のYKKファスナーの大変興味深いお話を有難うございました。工業用にも使用されていること全然知りませんでした。谷川様ハワイIBCクラブ50周年ご出席お疲れさまでした。(芝田 光雄)
- 山口さんの話、大変興味深く聞きました。昔、カナダのモントリオールに駐在していた頃、日本の製造業等の進出のなかった時代に、現地で生産していたのを思い出します。(谷川 寛)
- 秋の地域行事が済んで来ました。来週の表コミの茶会楽しみにしています。(中村 幸枝)
- 本日は勉強させて頂きました。また、先日は母親がお世話になり、有難うございました。(藤井 大祐)
- 山口様、今夜はYKKでの長いご経験に基づき、日本企業にとっても最も重要なマーケットである中国でのビジネスにつき、分かりやすくお話を頂き、大変有難うございました。
 - ・谷川様、又アヌクラブの50周年記念にご参加頂き、厚くお礼申し上げます。素晴らしいIBC交流が図れたこと、本当に嬉しいことです。(藤原 正巳)
- 30年前の中国・北京の話が聞けて懐かしかったです。中国での商売のお話、とても参考になりました。(何 早林)

○今年の「土佐堀カーニバル」への参画は、センテニアルクラブとして素晴らしいことでした。今夕の山口さんのスピーチ、「中国商人の考え方」のうち、「礼を持って客に接する」は、その通りに実践されていることを望みます。

(松浦 孝次)

- ファスナーがいろんなところに使われているのを初めて知りました。YKKのファスナーがブランド製品にも使われているといい。興味あるお話でした。(松浦 和子)
- YKK山口晴司氏のファスナーに関するグローバルなお話、大変興味深かったです。名だたるファッションメーカーがYKK使っていることを改めて知りました。(三浦 直之)
- 12月が近づくと、教会やY'sの周りはもう「X'mas」の行事や催しごとのが大きくなって聞こえてきますネ。“今年はどうなイベントが楽しめるのかなあ”自分の気持ちもウキウキする昨今です。翻って「他者のために自分は何ができるか」と考えしまう時もあります。(山田 孝彦)
- 山口晴司の大変興味あるテーマでの講話、有難うございました。(山中 秀男)
- 山口晴司氏のお話、有難うございました。(山中ちあき)



YMCAのスタッフの池田さんと花本さん
クリスマス献金の協力の呼びかけに！

後 記

12月に入ると、クリスマス一色！ジングルベルの音色が街中に鳴り響きわたります。今やイベント化、商業化されたクリスマス。でも私たちはイエス・キリストの降誕を心から祝いましょう。

聖句のイザヤの予言どおり、イエス・キリストの名は、「とこしえの父、平和の君」となられました。この世にどれだけ英雄や独裁者、権力者が出てこようと、彼らの名は、あの十字架の上で命を落としたイエス・キリストの前では、なんと無力ではかないことでしょう。

さまざまのことがあった一年、また新たな気持ちで新年をお迎えください。



S.N